



<教育目標> こころ豊かで たくましく生きる子どもを育てる

～やさしく（豊かな心）・かしこく（確かな学力）・たくましく（健やかな体）～



平成26年度 前期学校評価結果の分析と今後の手立て

平成26年度 前期の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。学校教育アンケートの集計結果とその分析・考察、保護者様からの意見、学校運営協議会での学校関係者評価がまとまりましたので、みなさまにお知らせいたします。

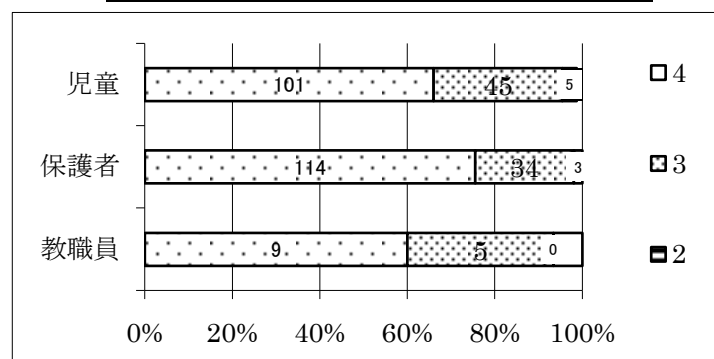
<アンケート結果の集計より（児童、保護者、教職員）>

昨年度に引き続き、以下の10の項目でアンケートを取り、項目ごとに児童、保護者、教職員それぞれをグラフ化しました。

右図にある1～4の数字は、アンケートの回答の項目です。

- 4. あてはまる
- 3. どちらかというと、あてはまる
- 2. どちらかというと、あてはまらない
- 1. あてはまらない

①子どもは楽しく学校に行っている。



三者の評価ともに「あてはまる。」「どちらかというと、あてはまる」の合計評価（*以下、肯定的評価とする。）が、三者ともに95%以上であり、楽しく学校生活を送っていると回答をいただいています。

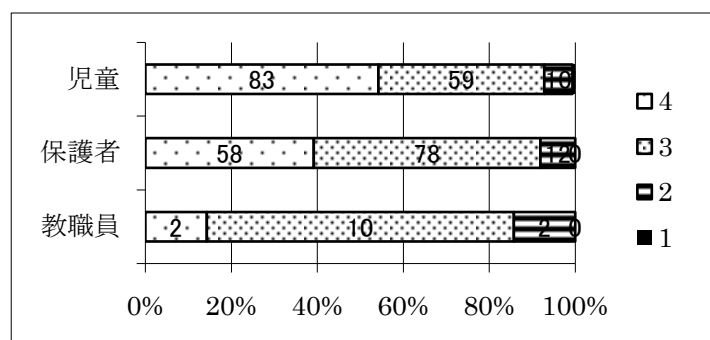
今年度、スクールスローガンに「やさしさいっぱい北醍醐」と掲げ、やさしさに満ちた学校にて、子どもたちの期待に確かに応え、満足を提供できるよう、教職員が「チーム北醍醐」として一丸となって取り組んできた成果が見えてきました。

今後、「どちらかというと、あてはまらない。」「あてはまらない。」（*以下、否定的評価とする。）という回答が減少するよう努力していきます。

手立て

- ・担任だけでなく全教職員がチームという認識の下、それぞれの視点や立場から児童の個々の困りに寄り添い、一人一人を大切にしていきます。
- ・『楽しいと感じられない背景』や『楽しい学校に求められている願い』を探り、その願いに応えられるよう、教育活動のいっそうの充実を図ります。

②分かりやすい授業が行われている。

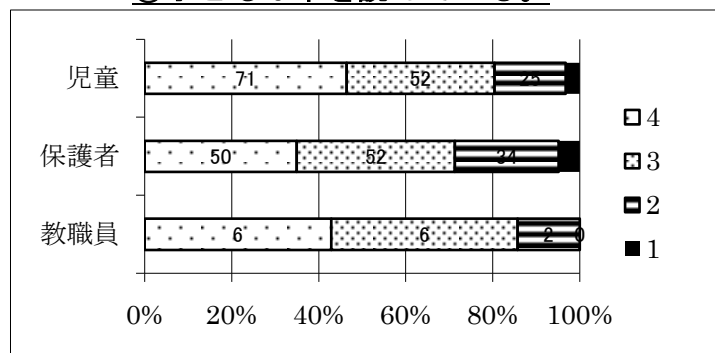


この設問も、肯定的評価の合計は、児童92%、保護者90%、教職員85%でした。教員が深い教材研究と確かな授業作りに励んできた成果だと思います。今後は、否定的評価をしている子どもたちに重点を置き、困りやつまづきの原因を探りつつ、一人一人に届く授業の展開や、個別指導の充実を図り、否定的評価のポイントの減少に努めます。

手立て

- ・今年度も、授業の充実を目指し交換授業や専科の授業などを取り入れてきましたが、子どもたちがよりよく分かり、進んで問題解決に取り組む授業となるよう、いっそうそれぞれの専門性を生かした授業が提供できるよう努めていきます。
- ・教員の授業実践力向上を図るために、内外の研修参加により研鑽に励みます。
- ・OJTや同僚性を活用し、職場内で教職員が育ち合う仕組みを強化します。

③子どもは本を読んでいる。



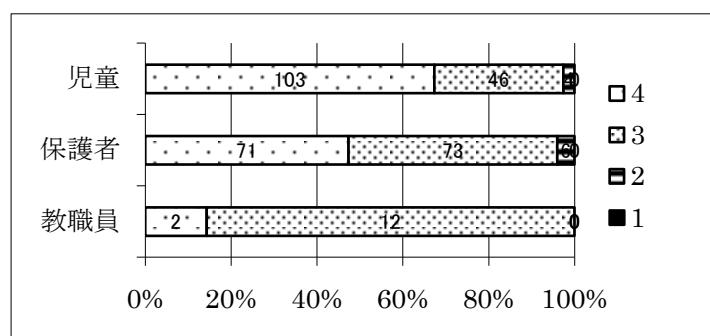
児童の肯定的評価が、約80%、保護者は約70%と増加しました。昨年度からの読書タイムの設定や読書指導、担任による100冊読書の奨励、子うま文庫の皆様やPTA読み聞かせボランティアの皆様によるご支援による成果だと考えられます。昨年度より図書支援員も配置され、図書室がいっそう使いやすく整備されたことも一因だと思います。これからも読書への興味・関心を高めるための取組や整備を重ね、本好きの子どもたちを育てていきたいと考えています。

しかし、まだ、家庭での児童の読書量が少ないと感じておられる保護者がいらっしゃいます。児童は学校ではたくさん読書しているので、その活動が家での読書と連動するような働きかけをしていきたいです。

手立て

- ・学校での読書の習慣形成により、主体的に読書に向かう児童がいっそう増えていくように今後もこれまでの取組の継続・発展を重ねていきます。
- ・保護者の皆様に学校での読書の取り組みを紹介し、学校読書と『家読（うちどく）』がつながるよう、子どもたちにも助言していきます。

④学級は子どもどうしが仲が良い。

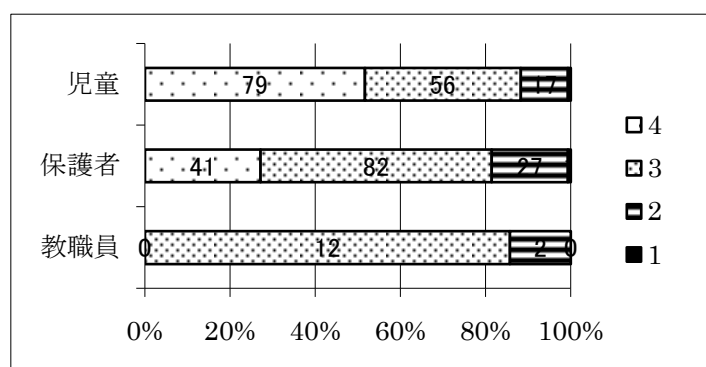


三者の評価ともに96%以上の肯定的評価と良好な評価を得ました。小規模校のため、集団に変動がなく、進級しても友達関係が継続できることが本校の良さだと考えます。また、たてわり活動や、児童会活動の取組「やさしさいっぱい北醍醐」の取組の成果も表れています。また、保護者や地域の皆様にも児童を認知していただき、我が子と同様温かく見守ってくださっているおかげだと思います。

手立て

- ・全教職員が全校児童の事を丁寧に見つめ、児童のより良い関係の構築に努めます。
- ・少数ながら存在する否定的評価をした児童の理由や原因を探り、その解決に向かいます。

⑤子どもはすすんであいさつができています。



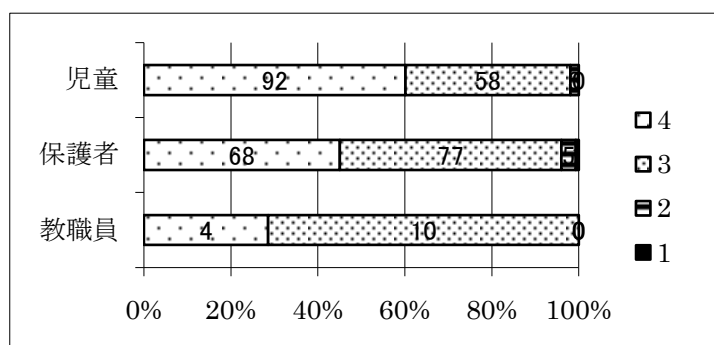
児童の肯定的評価の合計が約88%と増えました。児童自身は、すすんであいさつができていますと肯定評価しています。また、保護者、教職員も同様にポイントが増えています。まずは教職員から児童に積極的にあいさつするということを通して、いっそう『当たり前のこと』の徹底を図っていきたいと考えています。

また、保護者・地域の方も児童に積極的にあいさつや声かけをしていただいていることが、評価の向上につながったと思います。

手立て

- ・「進んであいさつする」という態度行動のモデルとなるよう、これからも教職員がまず実践します。
- ・正しいあいさつのスタイルを掲示し、形から入った指導を継続します。

⑥子どもは学校のきまりやルールを守っている。



児童の肯定的評価は、約98%でした。また、保護者、教職員も子どもたちは、集団でのきまりやルールに従い行動できていると高評価しています。「きちんとすること」の見える化の継続と指導の徹底が取組の成果につながったと思います。

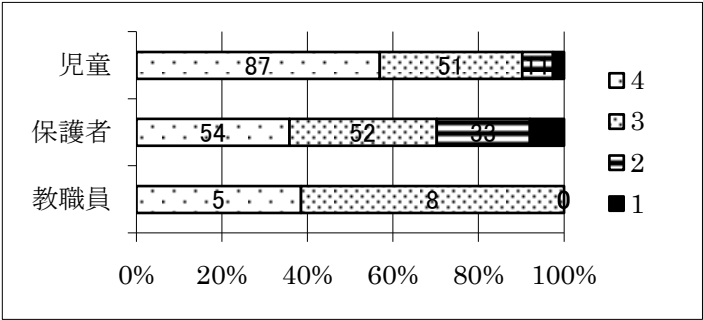
また、高学年の良い態度や行動がロールモデルとして下学年の子どもたちに示されていることも喜ばしいことだと思っています。

きまりやルールを守っていると自己肯定感を持ち、みんなが気持ちよく学校生活を送ってほしいと思っています。

手立て

- ・今後もあたりまえのことがきちんとできていることを、確かに評価し、ほめていきます。
- ・きまりやルールが守られていない場面では、どの教職員も同一基盤に立った指導をします。

⑦子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。



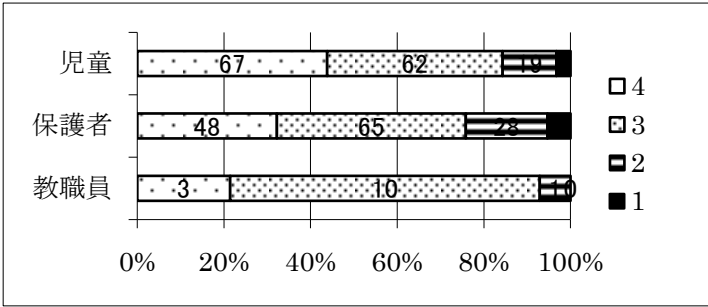
児童の肯定的評価は約90%となりました。児童はしっかり家庭学習に取り組んでいると実感しているようです。

ただ、保護者の肯定的評価は70%であり、まだまだ不十分だと思っておられるようです。児童はまずは宿題をすることが家庭学習と捉えていますが、保護者は宿題をすることだけでなく、もっと自主的に学習をしてもらいたいと考えておられるのではないかと思います。また、家庭学習の設定時間を目安として図ってご返答いただいているのではないかと思います。

手立て

- ・点検と指導を徹底し、家庭学習への意欲の喚起にいつそう努めます。
- ・発達段階に応じて、家庭学習の内容・量について統一し、家庭学習の習慣が身に付くように、同一基盤に立って指導していきます。
- ・宿題が早くできても、学年×15分の家庭学習（自学自習）ができるように指導し、各家庭と連携して取り組んでいきます。

⑧コミュニケーションが取れている。



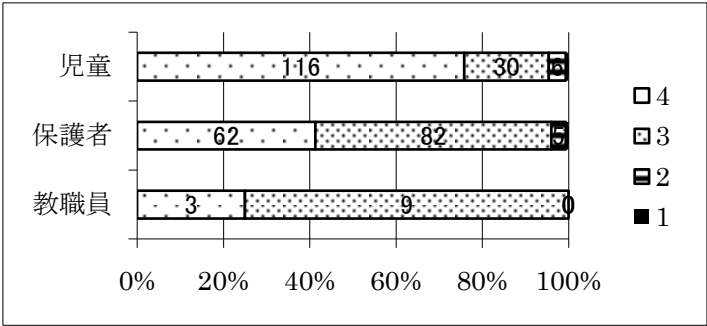
児童の肯定的評価が84%になりました。教職員が「チーム北醍醐」の一員であるという認識をもち、全教職員が児童一人一人を大切に思い、積極的に声かけを重ねた成果だと思えます。

ただ、保護者の肯定的評価が前回とほぼ同じでした。「開かれた学校、気軽に話せる教職員」となるよう心掛け、保護者の皆様とご一緒に考えていきたいと思っています。

手立て

- ・今後も、児童への関わりを最優先させ、機を逸しない対応ができるよう、よりチーム力を高め機動力を生かして対応していきます。
- ・開かれた学校を目指し、保護者、地域の方、どなたにも気持ちの良い対応を心がけ、話しやすい教職員と思っただけできるよう誠意をお伝えしていきます。

⑨教室内の整理や安全に配慮している。

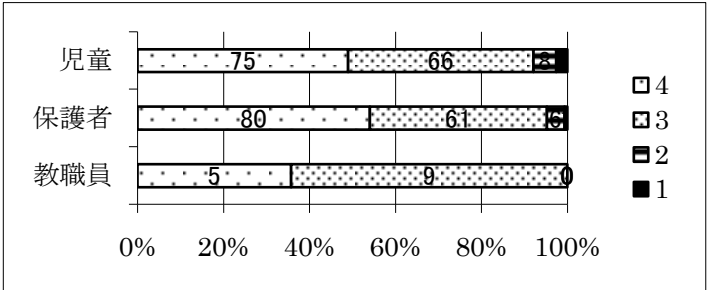


児童、保護者、教職員と三者とも95%以上の肯定的評価をいただきました。安全を求め、整頓された学校づくりを目指してきた成果であると思えます。今年度、快適トイレの改修工事の完成、北校舎昇降口前通路の花壇の撤去による通路幅確保とアスファルト化、樹木の伐採、剪定、給食室屋根の補修等順次、環境整備を重ねてきております。また、教室や廊下等の不用品を片付け、避難路の確保にも努めています。

手立て

- ・今後も安全を重視し、児童に安心・安全な学習環境を提供できるよう教室及び学校環境を整えていきます。
- ・想定外をも想定し、いつそう安全対策を整えていきます。

⑩学校便り、お知らせ、ホームページで学校のことがよくわかる。



児童、保護者、教職員三者ともに92%以上の肯定的評価となりました。ホームページにおいては、毎日の更新により、アクセス数も大幅にアップしています。積極的な広報活動は、学校の取組に対してご理解いただく有効な手段だと考えています。これからも毎日、ホームページを更新もしてまいります。

手立て

- ・今後も学校での児童のがんばりの様子や、出来事、行事予定等をお知らせできるよう、ホームページや、お便り等でお伝えしていきます。
- ・メール配信の活用を通して、正確な情報をお届けします。
- ・学校からの配布物が確かにお手元に届くこと、また、お目通しいただきやすいように心がけます。

＜自由記述欄でいただいたご意見＞

保護者の皆様からいただきました「学校経営改善のために参考となるご意見」を載せ、それに対する手立てをお示しします。

- 今年度から、小人数になって目が行き届いていると思います。発言のチャンスも増えありがたいです。
- 高学年へ進むにつれ、授業の内容が難しくなるため、より分かりやすい授業をしていただく事が希望です。
- 読み、書き、計算については、“いつごろまでに、こういうことができるまで進みたい”というような予定や個々の進捗度合い等が分かれば、家庭学習につなげられると思います。
- 苦手な漢字も小テストのおかげでずいぶん覚えられるようになってきました。これからは漢字や計算など小テストをどんどんして頂けると助かります。
- 家ではほとんど読書しません。何か家で読書するきっかけ作りをお願いします。
- 放課後学習は苦手な所を補うことができ良いと思うのですが、下校時の安全や帰宅時刻の把握ということからも、残った児童たちの終了時間を一律にするなどの配慮を頂ければありがたいと思います。
- 昨年に引き続き、土曜学習の漢字の取り組みに加え、英語学習も始まりとてもありがたく感じています。
- アンケートに氏名を書く理由がわかりません。

- | | |
|-----|---|
| 手立て | <ul style="list-style-type: none">・個々に合った指導を行い、より良く分かる授業となるよう、いっそうの授業改善をしていきます。・放課後の補習等による居残り学習では、事前にご家庭に連絡する等、下校の安全に努めてまいります。・読書ノートを活用して、「家読」が広がるよう具体的に取り組みます。・学習進度などについては、学級だより等をご利用いただきたいと思います。また、個々の対応につきましては、連絡帳などでご家庭と密に連絡をとりあっていききたいです。・土曜学習「学びタイム」では、毎回、70 数名の児童が自学自習での漢字学習や、地域協力者の指導のもと英語のゲームや歌を楽しんでいます。これからは、漢字検定や英語検定合格を目指して取り組んでいきます。・アンケートに氏名を記入する件に関しましては、詳しくお教えいただきたいことや、ご回答の必要性を考え、記名式でお願いしてまいりましたが、学校運営協議会でいただいたご意見なども考慮しまして、後期からは自由記名方式とさせていただきます。 |
|-----|---|

＜学校関係者評価＞

児童・保護者・教職員の三者の評価の集計結果を分析、考察し、過日行われたました学校運営協議会理事会で討議していただきました。その場でいただいたご意見について要約してお示し致します。

- 今年の北醍醐大運動会で、教職員が全員そろいのTシャツで活動していたので、教職員がどこにいるのか地域の人にも良く分かった。地域の方は、「先生は良くがんばっているな。」と思ったはずである。『チーム北醍醐』として一丸となつての活動をアピールし、理解してもらえたことは大変良かった。開かれた学校としてのイメージが広がった。
- 朝の登校時にあいさつする時、大人が子どもの名前を言ってあいさつをすると、子どもも身近に感じてくれるのか、あいさつも返ってくるようになった。あいさつをすることで、コミュニケーションがとれてきている。名前を呼んであいさつすることが大切である。
- 図書室が再整備され、たいへん使いやすくなり、子どもは学校で本をいっそう読むようになったことが素晴らしい。
- 読書に向かわせる、また、読書好きにさせるために、読んだ本の冊数で追い込んではいけないのではない。自分の好きな本をじっくり読ませた方がよいと思う。
- 高学年になると、自分の好きな本を1冊机の中に入れていて、時間ができるといつでも読んでいる子がふえてきている。本好きの子どもの間口を広げることが大切である。
- 学校で子どもは本をたくさん読んでいることを保護者に知らせ、安心させてあげる必要がある。
- 家庭学習については「宿題できているの？」と、こちらが声かけしないと始められない。子ども自ら進んでしていないことが、保護者の家庭学習についての評価が「よくできる」にならない理由ではないか。また、家庭学習の中身や時間について、保護者に伝えていかねばならない。
- 25年度後期に比べ、どの項目についても肯定的評価が増えているのは喜ばしいことなので、今後、教育活動の充実に努めてもらいたい。

今回の児童、保護者、教職員による学校評価の結果、みなさまからのご意見、学校運営協議会でのご意見を、真摯に受け止め、今後の本校の教育活動に生かしていきたいと思ひます。